

理事通信



12月号 2013年12月1日発行



志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。
Attend club meetings with a clear motive to make the most of them



地球はわたしたちに警鐘を鳴らしているのでしょうか。そして神様は、私達を試そうとされているのでしょうか。フィリピンのビサヤ諸島を襲った台風30号は、甚大な被害をもたらしました。家族を失い泣き崩れる人や茫然自失のこどもたちを見て、東日本大震災を思いだし、こころを痛めておられる皆様も多いことと存じます。

あの東日本大震災では、全世界のYMCA、ワイズメンから温かい支援の手が寄せられました。とりわけアジアの仲間からたくさんのご厚意を頂戴しました。いまこそその恩義とアジアの仲間からの信頼に応える時です。

西日本区は、地域奉仕・環境事業資金から5,000\$をフィリピン区理事に寄せる準備をしています。マニラダウンタウンクラブやラハクラブなど8月にアジア大会をホストし、あたたかく迎えてくれたメンバーが、治安が確保されない状態にもかかわらず、医薬品や食料を積んだトラックを被災地に送り続けています。

皆様からの献金は、日本YMCA同盟を通じ、アジア・太平洋YMCA同盟の手を経て、被災地の支援に用いられます。被災地は報道で知るレイテ島だけでなく広範な地域に及び、その復興には長期的な活動が必要です。頑丈に作られたYMCAの建物は被災を免れ、レイテ島のオルモック、アツヤンYMCAや隣島のセブYMCAが被災者の受け入れをすすめています。皆様からの温かく尊い献金をどうかよろしく願いいたします。

晩夏から急に冬が押し寄せてきた感じです。東北の被災地の皆様も雪に閉ざされる冬を迎えます。クラブでは、年末から年始にかけてたくさんの行事をされることと存じます。そのときも被災地を憶えて取り組みを是非お願いします。

皆様がよい新年をお迎えになりますようにこころより祈念しています。

西日本区理事 高瀬 稔彦

今月の聖句

ヤコブはマリアの夫ヨセフをもうけた。

このマリアからメシヤと呼ばれるイエスがお生まれになった。

(マタイによる福音書 1 章 16 節)

聖句黙想

新約聖書の初めにアブラハムから始まってイエス・キリストまでの系図が記されています。旧約聖書のダイジェストなのです。カタカナで書かれた知らない人物名に辟易させられます。この中には女性 5 名が含まれています。神の約束を信じて命を繋いできたこの人たちの多くが無名であって力なく、正しい人でもありません。そんな中にキリストは生まれました。

イエスは神を指さし「一緒に働こう」と私たちに招きます。

クリスチャニティー特別委員チャプレン 江見淑子

12-1 12 月度強調月間 EMC-M

MCのMはMembership。会議や奉仕の中にも「親睦」を大切にし、メンバーひとりひとりが成長できるクラブの風土を育てていきましょう!



元気で楽しいクラブ＝親睦×個性の違う人達の集まり

パーソナリティの違う人達が集うことで互いの啓発がありますが、しかし、摩擦も生じます。そこで大切なことが親睦です。親睦は、共通の趣味や話題を通じて心を豊かにしてくれ、親睦で得られたエネルギーは友情を生み、団結力を生みます。この親睦をベースにして、お互いが違うと言うことを知ること、そのうえで相互理解をすれば、自己反省が生まれ自己成長に繋がります。親睦は価値観の違う人や個性の違う人達をつなぎ合わせる接着剤の役割があるといえるのではないのでしょうか

EMC 事業主任 為国 光俊(京都パレス)

12-2 次期国際会長と国際議員の選挙

次期国際会長と次期国際議員の選挙は、かならず投票権を行使してください。すでにクラブ会長宛に次期国際会長と次期国際議員の投票用紙と候補者略歴をお送りしています。投票の締め切りは、2014 年 1 月 31 日国際協会到着分となっております、できるだけ年内に投票行動をお願いします。

なお私たちが所属するアジアエリアからは、南東アジア区から元アジア会長として大いにお働きいただいた Wichian BOONMAPAJORN ワイズが立候補されています。大変重要な選挙となりますので、投票権のあるクラブは、必ず投票権を行使されるようお願いいたします。なお国際会長の他の候補者は、Anto K.ANTONY(西インド区)と K.G.VARGHESE (南西インド区)のおふたりです。

12-3 フィリピン台風30号被害救援募金のお願い

11月8日に猛烈な台風30号が直撃したフィリピン中部では、犠牲者が4,000人を超え、暴風雨や高潮による被害で家屋と肉親を失った多くの民衆が困窮し、救援を待ち望んでいます。著しい治安悪化や通信手段の断絶で、支援が遅々として進まない現状ですが、被害の凄まじさから息の長い支援が期待されるとして西日本区会員各位に緊急募金のお願いをさせていただきます。どうぞ皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

西日本区の募金の概要が決まりましたのでお知らせいたします。

募金期間：2013年11月20日(水)～12月31日(火)

送金先：日本YMCA同盟経由、アジア・太平洋YMCA同盟

(西日本区の募金全額が現地に送られます)

西日本区の振込取扱票を利用して、お近くの郵便局からクラブ単位で西日本区事務所へご送金をお願いします。また振込用紙の通信欄に「フィリピン支援」とご記入ください。

12-4 後期半年報提出のお願い

12月中旬ごろに後期半年報のご案内を各クラブ会長に発信します。西日本区の現状を把握する大切な資料です。必要事項をご記入の上、2014年1月10日までに所属部部长へご提出ください。

なお後期半年報の用紙は、区HPの「資料庫」からもダウンロードできます。

12-5 国際でユースインターンを募集

国際で2014-2015年度のユースインターンを募集しています。是非この機会にワイズメンズクラブに連なる青少年の見聞を広めるチャンスになればと願います。

これから国際舞台で活躍しようと考えている若者にとっては得難い体験となることは間違いありません。身近で可能性のある若者がおられましたら、是非広くお声がけ頂ければと思います。

応募締め切りは、2014年1月31日です。

2010-2011年度には 橋崎真美さん(姫路-Y3)が経験されています。

対象者：22歳～27歳でワイズまたはYMCAに最低2年間積極的に関わっている人

期間：2014年9月はじめから2015年7月まで

給与：1,100CHF (スイスフラン)

勤務地：ジュネーブY's men 国際本部

申込み問合せ：YMCAサービス・ユース事業主任 正野忠之ワイズ



12-6 次年度における次期理事候補指名のお知らせ

次々期理事候補者等指名委員会からの指名を受け、11月16日開催の西日本区第2回役員会で審議した結果、次年度における次期理事候補として、遠藤通寛ワイズ（大阪泉北クラブ）を正式指名することを決定いたしましたので、皆様にご報告します。なお2014年6月開催の代議員会に提案いたします。

12-7 西日本区事務所所長公募について

西日本区発足以来、事務所職員として勤務いただいている北村久美子職員が今年8月末に定年を迎えられることから、坂本千春職員が新たな事務職員として今年採用されました。北村氏には来年8月末まで嘱託として業務を継続すると共に、後継者への業務引継ぎに専念していただきます。一方坂本氏は当面週2日勤務との制約の中で、業務引継ぎに専念し、来年度から本格的に事務所業務を遂行していただきます。そのための環境整備を常任役員も含め行なっていく予定です。

坂本氏が来年度から本格的に事務所業務を遂行するにあたり、当面勤務日数に制約があることを考慮して、事務所職員の業務を補佐し、指導・監督する「事務所所長」を公募することといたしました。詳細については、部長宛に募集要項をお送りしていますのでご参照ください。

ワイズ運動のますますの発展のため、皆様のお力添えをお願いいたします。

12-8 2014年国際大会（インド・チェンナイ）における西日本区公式旅行代理店決定

11月16・17日に開催された西日本区第2回役員会にて、2014年インドのチェンナイで開催される国際大会の西日本区公式旅行代理店が、(株)トラベルファイブジャパンに決定いたしました。

なお今回から公式旅行代理店には責任（通訳器の運搬・貸出・管理業務を担う。主催国との折衝、大会会場のホテル確保等に責任を持つ。）と特典（ユースコンボケーションの参加者との交流会を開催。西日本区通訳機の無償提供。）を付与することを明確にしましたのでご理解ください。公式旅行代理店以外で申込み参加される方はこれらのサービスが受けられないまたは有償となりますので、ご注意ください。

12-9 ご案内

「ワイズエンブレム・ロゴマーク使用届出書」ができました。

このたび、各クラブでワイズマークを使用した「物品」の制作などを行う際にはロゴマークの使用届出書をご提出いただくことになりました。

書式は西日本区のホームページ→資料庫→諸届け用紙、からダウンロードできます。なお、例会案内チラシなどの印刷物への使用には、従来通り届出は必要ありません。

詳しくは届出書に記載の使用諸注意をごらんください。

12-10 スケジュール

2014年1月11日(土)	六甲部 YY フォーラム
1月25日(土)	13:00～ ユースコンボケーション西日本区報告会 会場：日本綿業会館
2月15日(土)	13:30～17:30 神戸学園都市20周年記念例会 会場：エスタシオン・デ・コウベ 会費7,500円
2月15日(土)	13:30～15:30 元国際会長 藤井寛敏氏 講演会 [ワイズメンズクラブの国際事業について] 会場：大阪YMCA10Fチャペル 参加費無料 主催：大阪なかのしまクラブ
2月16日(日)	16:00～ 京都東稜クラブ10周年記念例会 会場：メルパルク京都5F
3月8～9日	次期会長・主査研修会
4月5日(土)	京都キャピタルクラブ30周年記念例会
4月12日(土)	熊本にしクラブ5周年記念例会
4月19～20日	西日本区第3回役員会、第1回準備役員会



12-11 西日本区事務所から年末年始のご案内

西日本区事務所は12月28日(土)～1月5日(日)の間
お休みをさせていただきます。

理事通信への掲載 クラブ周年例会や部・クラブ事業等で皆様にお知らせがありましたら、
理事通信に掲載が可能なこともあります。毎月20日までに理事事務局までご連絡ください。

理事事務局 渡辺悦司(呉) e-mail: 2013e.watanabe@gmail.com

FAX 082-229-8477





◇メネット事業ミニ通信 4◇

谷本久美子メネット事業主任
(東広島クラブ)

メネット事業支援金振込のお願い！

日頃よりメネット事業へのご理解、ご協力をありがとうございます。

今年度のメネット国内プロジェクトは、「障がいのある方が描いたアート作品に触れたり、お話を聞く会」を各部単位で行っていただき、来年の西日本区大会ではその集大成として「各部から数点ずつの作品を合同展示する」ことになっています。各部とも本当に心のこもった素晴らしい企画を行っていただき、多くの感動を呼んでいます。皆様のご協力に感謝しております。

さて、ここで各クラブの皆様にお願ひがあります。それはメネット事業支援金振込のお願いです。上記のメネット国内プロジェクトは今年度目標額 130万円 となっております。

内訳：各部での障がい者アート企画への支援金＋西日本区大会でのアート展経費

(最大 10万円/部×9部) + (40万円)

これらの費用はすべてメネット会を含む各クラブからの郵便振替による振込により賄わなければなりません。11月24日現在で国内プロジェクトに対する振込は30クラブ、合計31万円(目標額の23.8%)にとどまっています。各部による「障がい者アート企画」は順調に進んでおりますので、下記の点にご留意の上「メネット事業支援金振込」への全クラブのご協力をよろしくお願ひいたします。

1. 振込用紙は部会の際に各クラブに2枚ずつお渡ししております。

(下の振込用紙見本もお渡ししています。)

2. 振込用紙記載の際は摘要欄の①国内プロジェクトに比重を置いていただければ幸いです。

3. 各部への支払いがありますので、振込はできるだけ年内にお願いします！

4. 部会メネットアワーの際、献金のお願いをしておりますので、振込金額を例年より多少多めにいただければありがたいです。

5. すでに振込をしてくださったクラブも是非追加の振込をお願いします。

各クラブにお渡しして
いる郵便振込用紙記入
見本です。



フィリピン台風30号被災地 緊急支援基金のお願い

平成 25 年 11 月 22 日
西日本区理事 高瀬稔彦

ワイズメンズクラブ西日本区
会員各位

11月8日に猛烈な台風30号が直撃したフィリピン中部では、犠牲者が4,000人を超え、暴風雨や高潮による被害で家屋と肉親を失った多くの民衆が困窮し、救援を待ち望んでいます。

著しい治安悪化や通信手段の断絶で、支援が遅々として進まない現状ですが、被害の凄まじさから息の長い支援が期待されるとして西日本区会員各位に緊急募金のお願いをさせていただきます。

なお、西日本区を通じて寄せられた募金は全額がアジア・太平洋 YMCA 同盟に送られます。どうぞ皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。

募金期間： 2013年11月20日(水)～12月31日(火)

送金先：日本 YMCA 同盟経由、アジア・太平洋 YMCA 同盟

西日本区の振込取扱票を利用して、お近くの郵便局から
クラブ単位で西日本区事務所へご送金をお願いします。

また振込用紙の**通信欄に「フィリピン支援」と**ご記入ください。

お問い合わせは、

西日本区理事事務局 事務局長 渡邊悦司 までご連絡ください。

TEL : 082 - 229 - 8464

E-mail: 2013e.watanabe@gmail.com

YMCA・ワイズメンズクラブ - フィリピン台風災害緊急支援活動

Cebu YMCA 支援活動要約

セブ YMCA は台風被害直後から緊急避難センターとして被災者を受け入れる。

11月11日午後8時、タクロバンからの最初の被災者グループ（17名）が到着。台風後3日間何も食べられなかった被災者たちへすぐに温かい食事を提供し、治療を必要とする人たちに医療サービスを行った。

以後、50人の被災者グループが到着し、食事と医療サービスを提供した後、避難所へ移動した。



11月14日 被災者のグループが到着。生後3週間の乳児を含む平均7歳の児童とその保護者のグループ。到着後すぐ YMCA にてメディカルチェックのあと、温かい食事を提供される。



RAHA フィリピンズワイズメンズクラブ支援活動報告要約

クラブ名：Y's Men's Club of RAHA Philippines

区：Philippines Region

マニラ市内にて消防署を運営している RAHA フィリピンズクラブは、被災地に救援物資を届けるためトラックで11月19日タクロバンに到着し、被災者に直接緊急支援物資を配布した。マニラを出発してから約4日間を要したが、現地へ直接支援物資を届けることができた。これは第一便で、消防車を含めた第二便が11月20日にマニラを出発した。

写真：消防車と支援物資を満載したトラック